

【概要】

5月31日に平成30年度協議会を開催し、「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応、平成29年度の実施状況報告、平成30年度の実施予定、今後のスケジュールについて協議会に諮った。その結果、協議会構成員の賛同を頂くとともに、減災に向けて各機関が協力して取り組みを推進していくことを確認した。

【決定事項】

- ・「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画への対応(地域の取組方針の見直し)
- ・「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく江の川(下流)流域の減災に係る取組の推進

【主な発言】

- ・江津市長:タイムラインは、江の川独自のものをつくりながら先行事例の参考となるところを取り入れるべきではないか。
- ・事務局:独自のものと他事例を参考にした検討を同時に進める。
- ・邑南町長:洪水浸水想定区域図の作成範囲を教えて欲しい。
- ・事務局:江の川を約20ブロックに分けて作成。昨日からインターネット(浸水ナビ)で公開しており、1kmぐらいまでは拡大できる。
- ・邑南町長:洪水が起きやすい地域では住民も浸水に慣れているので、住民に浸水ナビ等で浸水箇所を認識してもらい、慣れに対しての意識を変えるために重要なものになる。
- ・島根県土木部:NHKデータ放送の画面は、広島の方が分かりやすいと思うが、放送局で作り方が違うのか。また、カメラ等のデータを提供するとよい。
- ・邑南町長:集中豪雨が何時間前に来るかを早く知りたい。新聞に掲載されていた15時間前からの予報について詳しく聞きたい。
- ・気象台:15時間予測の詳細は、もう少し後になればわかると思う。
- ・浜田河川国道事務所長:防災教育は推進していくべき。
- ・邑南町長:防災教育推進は必要だが、教育委員会も学校も対応できていない。国や県から直接、指導して欲しい。

開催日:平成30年5月31日(木)

場所:江津市役所 別館 江津市職員会館 会議室
参加機関:江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、
松江地方气象台、浜田河川国道事務所



平成30年度江の川水系(下流)減災対策協議会の状況